

○各比率の定義及び算定式

「実質赤字比率」

地方公共団体に通常収入が見込まれる一般財源の標準規模（標準財政規模）に対する一般会計等の赤字額の割合を表す比率

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

「連結実質赤字比率」

標準財政規模に対する公営企業を含む全会計の赤字合計額の割合を表す比率

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

「実質公債費比率」

標準財政規模を基本とした額に対する一般会計等が負担する公営企業会計等の地方債償還に充てる繰出金・負担金を含めた地方債償還等財政負担額の割合を表す比率

$$\text{実質公債費比率} \\ (\text{3カ年平均}) = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

「将来負担比率」

標準財政規模を基本とした額に対する第三セクター等を含めた一般会計等が将来的に負担すべき負債額の割合を表す比率

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

「資金不足比率」

公営企業会計ごとの事業の規模に対する資金の不足額の割合を表す比率

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$